

松江市 報道提供資料

令和 6 年 10 月 1 日

件名 防災意識向上プロジェクトにかかる講演会の開催について

内容

消防庁事業の「防災意識向上プロジェクト」により、実際に東日本大震災で活動された方を「語り部」として講師に招き、講演をしていただきます。

子どもたちに災害の恐ろしさ、避難することの大切さを講師の実体験に基づいた講演を通じて学んでもらうのと同時に、命の大切さを強く感じてもらい、中学生を始め教職員や保護者などの防災意識向上を図ることを目的に開催するものです。

【講演会】

日 時 : 令和6年10月8日(火) 11:05~12:20 (開場10:45~)

会 場 : 松江市立鹿島中学校 体育館

講演内容 : 「3月11日に家族が体験した津波」

講 師 : 元旭市役所職員 宮本 英一(みやもと えいいち)氏

注意事項 : 取材される場合、事前に下記問い合わせ先にご連絡ください。

また、中学校へのお問い合わせはご遠慮ください。

【問い合わせ】

防災部 防災危機管理課 担当 : 渡部 電話 : 0852-55-5115

防災意識向上プロジェクトにかかる講演会について

1 防災意識向上プロジェクトとは…

市町村における災害対応力の強化や地域住民の防災意識の向上を図るため、大規模災害（地震、風水害等）で活動体験及び防災に知見を有する者を語り部として派遣する消防庁の事業。

今回語り部派遣を希望したところ、採択されたため、地区内に津波災害警戒区域が指定されている鹿島中学校に語り部を派遣し、東日本大震災の教訓を話していただく。

【補足】

本事業は、今年度全国で 148 自治体が採択されており、島根県内では松江市のみ。

【参考】

- 平成 30 年度 美保関地区 実施（小中学生対象）
- 令和元年度 島根地区 実施（小中学生対象）

語り部：菅野 祥一郎氏（陸前高田市）

岩手県陸前高田市在住、元小学校長。

2 目的

こどもたちに災害の恐ろしさ、避難することの大切さを講師の実体験に基づいた講演を通じて学んでもらうのと同時に、命の大切さを強く感じてもらい、中学生を始め教職員や保護者などの防災意識向上を図る。

3 講演会日程

令和 6 年 10 月 8 日（火） 11 時 05 分から 12 時 20 分まで（開場 10 時 45 分～）

4 会場

鹿島中学校 体育館

5 語り部（講師）

宮本 英一氏（千葉県旭市）

元旭市役所職員。東日本大震災時は退職しており、地区の区長をしていた。

自宅敷地内にいるときに津波に流された経験をしている。地元の区長として、住民の安否確認や被災者のケアに努める。現在は、消防庁の語り部のほか、NPO 防災千葉と協力して、県内の小学校において語り部として活動し、津波の恐ろしさと避難の大事さを後世に伝えている。

6 駐車場



駐車場（約 50 台）

黄色斜線枠に駐車してください。



注意：県道（校庭側）からは進入できません。